

# しょうなんメール

Vol. 100

2015年7月号

湘南鎌倉総合病院広報誌



## Contents

### 理念

「生命を安心して預けられる病院」  
「健康と生活を守る病院」

### 2 P〈お産センターより〉

お子さんとお母さんの憩いの場  
赤ちゃん同窓会

### 3 P〈バースクリニック〉

心温まるお産を  
バースクリニック開設に向けて  
日下 剛医師

### 4 P〈看護部より〉

認定看護師紹介  
集中ケア認定看護師編

### 5 P〈治験センターより〉

ご存知ですか? 「治験」

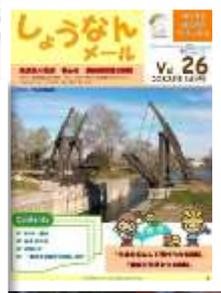
### 6 P〈栄養管理センターより〉

夏を乗り切るための  
「食・生・活」!

### 7 P〈医療の話・トピックス〉

熱中症に気を付けて!  
院内設備ツアーが行われました

### 8 P〈病院案内〉



ご自由にお持ちください  
**TAKE FREE**



# 赤ちゃん同窓会を開催しました

お産センター 助産師 篠崎 紗矢香

2015年5月31日に今年度初めての赤ちゃん同窓会を開催しました。1999年より開始し、今年で第44回となります。毎年たくさんの方が参加して下さい、私たち助産師も成長していくお子さんたちに会えるのを楽しみにしています。



▲赤ちゃん同窓会の様子

午前は1歳未満のお子さんを対象とした「ベビーヨガ」を行いました。一番幼くて1ヶ月から、よちよち歩きの1歳まで、様々な月齢のお子さんたちが参加してくださいました。「ベビーヨガ」はお母さんとお子さんとのふれあいの機会や、産後の体力回復、育児で疲れた体のリラックスなどを目的として行い、参加したお母さんたちから「腰が楽になった」「気持ちよかった」などの声をいただきました。お子さんたちも、笑ったり泣いたり刺激の多い時間になったことと思います。

▼ベビーヨガ

## 当日のスケジュール

### 午前部

- 10:00 開会の挨拶
- 10:10 手遊び歌
- 10:40 ベビーヨガ
- 12:00 閉会の挨拶



### 午後部

- 14:00 開会の挨拶
- 14:30 ダンス
- 手遊び歌
- 紙芝居 絵本読み聞かせ
- 15:00 お母さん・お父さん  
ハイハイレース
- てるてる坊主作り
- 16:00 閉会の挨拶



午後は当院のなかよし保育園の先生方による手遊び歌や紙芝居、絵本の読み聞かせをしました。お子さんたちも釘付けになり、興味津々な様子で聞いていました。お母さん・お父さんハイハイレースではご両親の背中にお子さんが乗り、お母さんとお父さんが息をあげて頑張っている背中を見るお子さんたちの笑顔や、不思議そうな表情が印象的でした。また季節も梅雨入りということで、新聞紙を使っているてるてる坊主を作りました。お子さんたちはとても楽しそうに、新聞紙をビリビリとやぶいたり、なげたりと思いきり体を動かす笑顔いっぱいの姿に私たち助産師もパワーをもらいました。



▲ハイハイレース

毎年参加されるお子さんたちの中に、3歳まで人見知り強く、最初は必ず泣いている子がいました。今回ははじめて笑顔で来てくれて、「こんにちは」と挨拶してくれました。先に来ていた同じ年のお子さんすぐに打ち解け、フロア中を駆け回り遊んでいました。お母さんからも、「やっと人見知りを卒業したんです」との一言。助産師として「自分が分娩に携わったお子さんの成長と一緒に見ていけるなんて、本当に幸せだな」と感じた瞬間でした。

妊娠・出産の時だけでなく、退院してからも赤ちゃん同窓会を通して、お子さんたちの成長と一緒に見ていけることは、本当に嬉しいことです。妊娠・出産はスタートです。そこから育児が始まっていきます。上手いかないことや辛いこといっぱいある中で、お母さんとお子さん成長していく姿に私たち助産師も勇気づけられます。

これからも地域で子育てをする方々と赤ちゃん同窓会を続けて、皆さんが気軽に参加でき、本当に「参加して良かった」と思えるような企画ができるように頑張っていきたいと思います。



紙芝居  
絵本読み聞かせ



てるてる坊主  
作り



心温まるお産を

# バースクリニック 開設に向けて



バースクリニック院長  
日下 剛

北海道大学 産婦人科部長  
日本産婦人科学会専門医  
日本周産期学会、日本不妊学会、  
日本人類遺伝学会、周産期学会、  
医学博士

こんにちは、バースクリニック準備チームリーダー日下剛です。2016年5月の開設に向けて、すでに建物の基礎工事が進んでおります。建物も大事ですが、最も大事な医療を含めたサービス内容の充実に向けて日々ミーティングを行っています。今回は私たちがリスクの少ない妊婦さん用のお産施設としてバースクリニック開設に至った経緯について説明します。注目したのはオキシトシンというホルモンと進化生物学です。どちらも近年急速に研究が進んでいます。

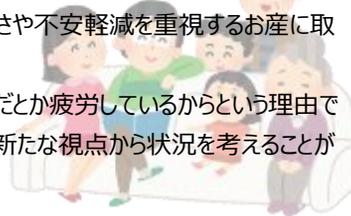


## 注目① オキシトシン

まず初めにオキシトシンの話です。分娩を進めたり授乳の分泌に重要なホルモンであるオキシトシンが、最近、脳に直接作用していることがわかりました。その作用とは、相手との共感や信頼感を増強させたり、安心感や幸福感を高めるというものです。さらに、それらの感覚を意識するとオキシトシンの分泌量が増えることもわかってきました。一方、アドレナリンや副腎皮質ステロイドといった緊張や不安によって増強するストレスホルモンは、オキシトシンにより弱められたり、逆にストレスホルモンがオキシトシンの分泌を減少させることもわかってきました。

これまでも私たちは経験上、心の状態が妊娠中や陣痛の時に何らかの影響を及ぼしていることは感じ取ってはいましたが、客観的な評価が難しいため重要視されてきませんでした。そんな中でも我々が湘南鎌倉総合病院では、他院に先駆けて井上裕美副院長を中心に、フリースタイル分娩など陣痛中の母体の快適さや不安軽減を重視するお産に取り組んでまいりました。

これまでは分娩が進まない時に、赤ちゃんが大きそうだと疲労しているからという理由で陣痛促進や帝王切開を行っていましたが、これからは新たな視点から状況を考えることができます。



## 注目② 進化生物学

次は進化生物学についての話です。

進化生物学とは繁殖に有利な性質は保存されやすく、不利な性質は消滅しやすいという視点から見た学問です。ヒトが大家族で生活してきたことや20歳前後で初産を迎えていたことは少なくとも20万年前から保存されてきたことがわかってきました。この結果から、ヒトにおいては共同繁殖に適さない個体や、初産年齢が極端に早かったり遅かったりした個体は、繁殖に不利なために淘汰されてきたと考えられます。

お産は我々哺乳類にとって繁殖のための重要な営みであると同時に、生物としての長年の選択と淘汰の場であったことは確かです。しかし、近年先進国社会における急激な生活環境の変化に伴い、妊娠や分娩を取り巻く環境も激変しました。核家族化、晩婚化、体外受精などへの環境の変化はこれまで淘汰されてきた高齢初産などの特性を持つ妊婦さんの増加をもたらします。我々の使命は選択されやすい特性を持つ妊婦さんを、その特性をできるだけ引き出すよう導き、淘汰されやすい特性の妊婦さんは淘汰されないように医学的に適切に対応することと考えています。

両者が同じ土俵へ立つことに無理があることは近年我々が感じてきたことでした。そこで、分娩リスクの少ない妊婦さんにできるだけ自分のオキシトシンでお産ができるようにサポートできる専用の場を提供することを目的としてバースクリニックを開院いたします。

我々はお産を家族におけるもっとも重要なイベントと考えております。その大切なイベントをそれぞれの妊婦さんの一番好ましい方法で行っていただきたく思っております。ご期待ください。

## バースクリニック スケジュール

2014年10月23日



地鎮祭には塩野院長、井上副院長、日下産婦人科部長、看護護部長、青木事務長や設計・施工関係者など約20人が参加。  
2016年5月の開院を目指して工事開始を迎えた。



◀ 井上副院長 (左)  
日下産婦人科部長 (中央)  
松本産科病棟棟師長 (右)

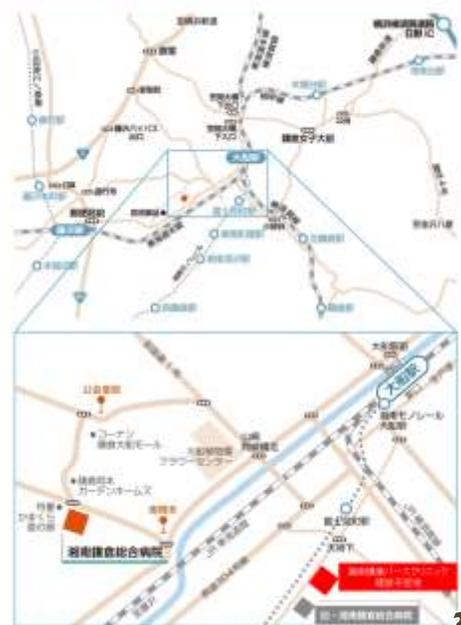
## 2015年4月の建設地の様子



2016年5月



湘南鎌倉バースクリニックの開院予定は  
**2016年5月**



# 認定看護師紹介



回診の様子



## メンバー自己紹介

千々岩 由香 (右)

私は昨年度、福岡の病院を退職して、この湘南鎌倉総合病院に入職しました。これまで長い間、集中治療室で勤務してきましたが、現在は、外科の混合病棟である7階病棟で所属長として勤務しています。

回復した患者さんが「ありがとう」と笑顔を見せてくれる時、「あなたが担当でよかった」とお褒めの言葉を頂く時…、看護師によってこの仕事の喜びを感じる時は様々でしょうが、専門職としてのやりがいを感じるには、自己研鑽とチーム力が必要です。湘南鎌倉2年目となった今年度は、一般病棟の所属長としてのリーダーシップに合わせて、集中ケア認定看護師としての専門的視点も活かし、チームの中で「発信者」として積極的に意見を述べて、チーム力と看護の質の向上に貢献したいと思っています。

石川 雄一 (左)

集中ケア認定看護師の石川です。2012年に集中ケア認定看護師資格を取得し現在はECUで重症患者管理、実践においてのスタッフ指導を担っています。看護部での活動としては新人教育（クリニカルラダーⅠ）の中で、フィジカルアセスメントを担当しています。1年間を通し呼吸・循環・脳神経系・腹部を中心に日々の業務で活用できるよう、また患者さんを診る事で看護の楽しさを感じてもらおうと工夫し教育に取り組んでいます。

仕事をする中では、複雑な人間関係に悩んだり、自分の看護観、患者さんとの問題など様々な問題が生じます。私が大事にしている事は、必ず問題を解決するまでスタッフと共に悩み、苦しみ、真の問題・解決策が出るまで共にその悩みと最後まで戦う事です。自分の価値観を認めてくれる仲間が増える事で団結力の強いチームができると考えています。認定看護師として、チーム力の向上を目標に掲げECUを牽引し、また自部署だけではなく看護部全体のモチベーションがあるような事も考えて、前に進んでいきたいと思えます。さらに今年度はトレーニング指導士資格を取得し、自らの大会への参加、さらにスタッフのダイエットサポートなどと活躍の幅を広げたいです。

再田 ちづる (中央)

ECUに所属しています。集中ケア認定看護師の再田です。私は認定看護師の資格を取得し2年が経とうとしています。これまでに諸先輩の御指導やスタッフの協力をいただきながら活動してまいりました。集中治療室に入院される患者さんは重症でベッド上の生活を余儀なくされますが、早期から生活を意識し治療・ケアを行っているかなければ日常生活や社会復帰が困難となります。様々な職種と協働して患者さんの回復や、ご家族のサポートをしていきたいと思っています。また最適な環境を作っていくために、認定看護師の役割である実践・指導・相談を通してスタッフのサポートも行っていきたいと思っています。今後も周りのスタッフと共に成長できるように、認定看護師の活動に精進して参ります。

最後に、より仕事を充実させていくために、自分自身のリフレッシュも大切にしています。趣味は登山・着付け・歌舞伎鑑賞など、好きな歌手はスピッツです。興味がある方はぜひ声を掛けていただくと嬉しいです。楽しく語りましょう。今後ともよろしくお願致します。

## 集中ケア認定看護師の役割

集中ケア認定看護師の役割は、生命の危機的状況にある患者さんやそのご家族の身体的・精神的ケアが円滑に行われるようチームを調整したり、看護師の教育を行ったり、モデルとなるような実践活動を行ったりすることです。手術後の患者さんの容態は不安定であり、思いがけず急変することもあります。集中治療室だけでなく、どの部署でも患者さんの身体から得られる情報をもとに、何が起きているのか、あるいは起きようとしているのかを考え、状態の悪化や身体機能の低下を防ぐケアを実践することが求められます。

## 集中ケア領域における教育活動

認定看護師の役割である教育活動として、病院全体と集中治療室の看護師を対象に研修を開催しています。

まず、昨年度行った研修を紹介したいと思います。当院に入院される患者さんの中には、人工呼吸器が必要な患者さんもおられます。そのため、24時間一番近くで看ている看護師は様々な知識を習得しなければなりません。人工呼吸器は取り扱いが難しいというスタッフも多いことから、基礎知識や看護について講義を行いました。実際に人工呼吸器に触れながら説明し、呼吸器装着の体験も行いました。体験する事で患者さんの気持ちを理解し、ケアの場面で活かす事を目的にしています。その他にフィジカルアセスメント（身体的な情報を意図的に収集して判断する）や集中ケアに必要な基礎知識の研修も開催し、スタッフの支援を行っています。



研修の様子

次に、集中治療に携わる看護師のクリニカルラダーについて紹介したいと思います。クリニカルラダーとは「臨床看護実践能力習熟度段階のレベル別到達目標」の事です。具体的には、看護師がレベルアップしていくために段階別に目標が掲げられており、決められた研修に参加し課題をクリアしていきます。看護技術の他に、看護師として必要な人間関係の構築や、リーダーシップを養成するなどの内容もあります。これらの病院全体に関わるクリニカルラダーは当院ですでに実施されていましたが、集中治療に携わる看護師のクリニカルラダーはありませんでした。昨年、日本集中治療医学会からこれに関する指針が出され、当院でも導入しました。集中治療室は病気が事故などで重症となった患者さんを治療する場所ですので、看護師は多くの病気や人の解剖・生理、医療用機械・器具、看護など様々な知識を習得していなければなりません。これはあらかじめ決められた学習内容や新人指導などの基礎がなければ習得は困難です。これらを進めていくために、指針を基に当院オリジナルのものを作成しています。稼働したばかりですが、今後もスタッフが患者さんやご家族のケアに活かしていくものにしたいと思っています。



教育活動の様子

## RST〈呼吸サポートチーム〉の活動

2011年7月よりRST加算取得をきっかけに、当院において2015年度に呼吸サポートチームが発足されました。人工呼吸器を装着した患者さんに対し、医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士などによるチームが人工呼吸器からの早期離脱、適切な呼吸器設定や安全管理、口腔状態の管理を目的として毎週金曜日に欠かさず活動をしています。

立ち上げ当初は、ラウンドに行くと「何をやる人達なんだろうか?」とされていた印象はありましたが、スタッフの気力・努力の甲斐もあり、約半年間で病棟からの相談件数も伸び、徐々に定着するようになってきました。RST加算に関しては、加算獲得件数は少ないものの患者さんや、病棟の為に活動する事で人工呼吸器の離脱率、稼働率に良い効果が着実に得られると考えています。ぜひRSTチームを見かけたら気軽にお声掛けを！



RST活動

ご存知ですか？

# 「治験」

治験センター 清水 悦子

当院では新しい薬や医療機器を開発する事でよりよい治療方法を早く患者さんへ提供できるよう、積極的に治験に取り組んでいます。



治験への参加を検討されている方へ

## 治験に参加する際に考えていただきたいこと

当院では認知症などの症例や薬剤、医療機器などについて年間約50件以上の治験を実施しています。募集中の治験については院内の掲示板（1階エスカレーター横）に一部を掲示しております。「少し話を聞いてみたい・・・」などでも結構ですので、お気軽に治験センターまでお問い合わせください。

患者さん一人ひとりの治療の可能性、未来の医療の可能性を広げられるよう、私たちはこれからも患者さんに寄り添ったサポートをおこなっていききたいと思います。

新薬 新医療機器  
**開発**

臨床試験

治験

国の承認

一般に使用できる  
薬・医療機器へ



## よくあるご質問

Q 治験は誰でも参加できますか？



A 治験は製薬会社が定めた実施計画書に基づいて行われています。ご協力いただく患者さんへの不利益を最小限にすること、また適切なデータを集める事を目的に組入れ基準を設けていただいています。

Q 担当医に治験の紹介を受けました。断ったら、気まずくなりませんか？



A 治験は患者さんの自由なご意思で参加を決めていただくことが大前提です。治験を断ったからといって、今後の治療や医療スタッフとの関係が気まずくなることはありません。また、ご同意をいただいた後でも治験を中止する事も可能です。ご不明な点がある際には、納得いくまで医師・コーディネーターへご相談ください。

治験にご協力いただくことは、新薬や新医療機器を誕生させることにより、将来、より多くの患者さんが新しい治療を受けられることにつながると期待されます。また、その患者さんにとって新たな治療の選択肢の1つにもなります。逆に思わぬ副作用が生じる事も十分に考えられます。

当院では、※治験コーディネーター（CRC）という専門のスタッフが対応にあたり、様々なサポートを行うことで安心して治験に参加できる体制づくりに努めています。

担当医から治験についての紹介を受けた際には、ぜひその参加についてもお検討ください。

新しく治験を行う治療法についてのミーティングの様子



※治験コーディネーター  
(CRC : Clinical Research Coordinator) について

厳格な法律、倫理のもとで治験を支援し実施していくチームの一員です。

看護師・薬剤師・臨床検査技師などが業務にあたっています。当院には10名のコーディネーターが所属し、患者さんの体調を伺ったり、ご来院のスケジュール管理など、医師と共に患者さんのサポートをしています。

ご協力いただいている患者さんからは、治験期間中は病気のことだけでなく、ご家族のこと、生活環境のことなどをご相談いただくこともあります。何となく医師には直接聞きづらいことや、院内でどこに問い合わせをしたらいいのかわからないことなど、コーディネーターを通して聞きやすいこともありますので、気軽に相談できるような関係を築けるよう努力しております。

治験コーディネーターについて興味のある方は  
こちらをご覧ください

当院ホームページより  
「受診される方へ」→「診療科のご案内」→  
「治験センター」→「採用のご案内はこちら」



# 夏を乗り切るための「食・生・活」!

栄養管理センター 主任 櫻井 聖子

食欲を増進させる調理のコツ

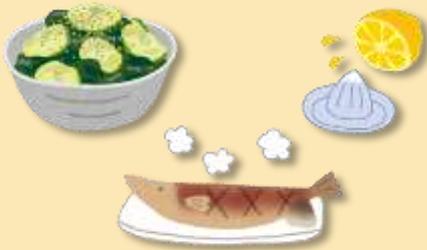
## Point



### 酸味を利かせる



お酢で酢の物を作ったり、焼き魚にレモンの絞り汁をかけて食べると酸味で食欲が増します。



### 香辛料や香味野菜を利用する

こしょうやとうがらし、にんにく、カレー粉、わさび、しょうが、みょうが、ねぎ、しその葉などを香辛料や薬味として使用することで食欲が増進します。



夏は、暑さによる疲れから消化機能が低下し、食欲がおちてしまいがちです。



暑いからといって、そうめんなどあっさりした食べ物でつい済ませがちになっていませんか?これでは炭水化物(糖質)が中心となり、たんぱく質・ミネラル・ビタミンが不足してしまいます。つまり、栄養のバランスが悪くなります。1日3食、**主食・主菜・副菜**をそろえてバランスよく食べましょう。



基本的なことですが、これが一番大事です。1食でも欠食していませんか?食事を食べないことが体力の低下につながってしまいます。

### ビタミンB群



ビタミンB<sub>1</sub>が不足してしまうと、糖質がうまくエネルギーに変わらず、疲労物質である乳酸がたまってしまいます。体が疲れやすくなってしまいます。ビタミンB<sub>1</sub>は、豚肉・うなぎ・玄米・大豆などに多く含まれます。

またビタミンB群(ビタミンB<sub>1</sub>・B<sub>2</sub>・B<sub>6</sub>・B<sub>12</sub>・ナイアシン・葉酸・パントテン酸・ビオチン)は協力して働きますので、ビタミンB群の補給も心がけるとよいです。ビタミンB群は、体内でエネルギーをつくるのに必要であり、玄米・小麦全粒粉・牛乳・卵・豚肉・鶏肉・大豆などは、ビタミンB群をまんべんなく含みます。

暑さによってからだにストレスがかかっていますので、ビタミンCを豊富に含む野菜や果物なども取るようにします。

また、冷たいものの飲みすぎや食べ過ぎなどは胃液を薄めたり、胃液の分泌を抑えるのでほどほどにしましょう。



ひえ〜



# 熱中症に気を付けて！

暑くなってきたこの時期、増えてくるのは熱中症です。一般的には「熱射病」や「日射病」とも言われますが、これらをまとめて「熱中症」といいます。体温が下げられず、そのままの環境で放置しておくと、ひどい場合は、脳や内臓の障害を引き起こし、生命に危険が及ぶようになります。



体温の調節ができなくなる要因として、季節独特の気温や湿度の状況や、寝不足や疲れ、激しい運動などがあげられます。真夏のように気温が高くなると、体温との差が少なくなるので、熱が奪われにくく、また梅雨の時期のように湿度が高くなると、汗をかいても蒸発しにくくなるため、体温を下げるのがうまくできなくなります。体温を下げるには、①皮膚の表面から空気中へ熱を放出する方法や、②汗が乾くときに熱が奪われて冷える方法があります。下記の4点を気を付けてみてください。

## 熱中症にならないように気を付けること

真夏の昼間など暑い時の外出は体調が悪い場合は控える	のどが乾いたらこまめに水分を摂る
服装は通気性のいい服を着る	お子さんやご高齢の方は熱中症を起こしやすいので特に気を付ける

水分補給の際に汗で失われた塩分も補充するためには、0.2%ぐらいの食塩水（1リットルのミネラルウォーターにひとつまみの塩）やスポーツドリンクの飲用が勧められています。



熱中症になってしまった場合、特に熱中症の初期の段階はめまいや立ちくらみなど「気分が悪い」といった漠然とした症状が現われます。また頭痛や吐き気などを発症します。症状が軽度なら対処できますが、状況から熱中症の可能性があり、左にあるような対処でも良

くなりそうにない場合は早めにご家族や近所の方に助けを求め、病院を受診してください。また意識の状態が悪い場合などは病院を受診してください。早期発見し、重症化しないためにご自身の体調や、天気気を配り、楽しく夏を過ごしましょう。

## 熱中症になってしまったら（対処法）

木陰やクーラーの効いた部屋など涼しい場所に移動する	水分をこまめに摂る
衣服を緩める	冷たいおしぼりなどで体を冷やし団扇（うちわ）などで風を送る



## ●トピックス

防災の知識を深めるために・・・

# 院内設備ツアー

が行われました

5月27日（水）18時より、防災・災害対策委員会が開催されました。今回の委員会の主な内容は、普段行っている災害のテーマに沿ったプレゼンの発表の他に、4月25日に起こったネパール地震の災害支援に、当院の職員が「TMAT」（災害医療救援活動を行っているNPO法人）として参加した災害支援活動の報告と、院内の防災に関する設備見学を行うというものでした。

委員会の最後に行われた設備見学では、医療用酸素ガスや貯湯槽、職員でも普段目にするのでできない屋上ヘリポートなどの見学もあり、当日は2班に分かれ、多くの職員が参加しました。



▲災害支援活動報告の様子



◀ ▲貯湯槽やボイラー  
普段は施錠されていて、天井には配管が張り巡らされている



▲「湘南鎌倉総合病院」の看板を裏から見る事ができる



▲▶屋上にあるヘリポート右側の「001」という数字は、鎌倉市内で1番目にできたヘリポートという意味がある



◀ 風向灯  
ヘリポートの近くにあり風の状況を把握する



▲ 医療用酸素ガス  
倒れないように鎖で繋がれている



# 医療法人 湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1  
 Tel : 0467-46-1717(代表) Fax : 0467-45-0190  
 編集・発行：湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会  
 ホームページアドレス：http://www.shonankamakura.or.jp



ご来院される方にシャトルバスの運行も行ってあります。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表か、ホームページをご覧ください。また、「しよなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

検索

クリック!

## 公共交通機関でお越しの方へ

### 大船駅より来院される方

#### ●大船駅西口（大船観音側）

1番乗場 神・船31 渡内経由 「慈眼寺」行  
 船32 渡内経由 「藤沢駅北口」行  
 公会堂前下車  
 神・船101 城廻中村経由 「大船駅西口」行  
 船102 公会堂前経由 「城廻中村」行

2番乗場 神・船34 公園前経由 「南岡本」行  
 南岡本下車

#### ●大船駅東口交通広場ターミナル （湘南モノレール駅下バスターミナル）

2番乗場 江・藤沢[弥]大船  
 南岡本下車  
 四季の杜・武田薬品前経由  
 「藤沢駅（北口）」行  
 江・南岡本経由 「四季の杜」行

### 藤沢駅より来院される方

#### ●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

4番乗場 神・船32 渡内経由 「大船駅西口」行  
 公会堂前下車

9番乗場 江・藤沢[弥]大船 武田薬品前経由  
 南岡本下車  
 「大船駅」行

#### ●藤沢駅南口（小田急デパート側）

8番乗場 江・5301 アズビル前・武田薬品前経由  
 湘南鎌倉総合病院下車  
 「湘南鎌倉総合病院」行

## 関連施設

- 葉山ハートセンター  
神奈川県三浦郡葉山町  
下山口1898-1  
TEL 046-875-1717
- 湘南厚木病院  
神奈川県厚木市温水118-1  
TEL 046-223-3636
- 湘南鎌倉人工関節センター  
神奈川県鎌倉市台5-4-17  
TEL 0467-47-2377
- 湘南葉山デイクアクリニック  
神奈川県三浦郡葉山町  
一色1746-2  
TEL 046-876-3811
- 湘南かまくらクリニック  
神奈川県鎌倉市山崎1202-1  
TEL 0467-43-1717
- 大和青洲病院  
神奈川県大和市  
中央林間4-25-17  
TEL 046-272-9300
- 介護老人保健施設 ゆめが丘  
神奈川県横浜市泉区  
和泉町1202  
TEL 045-800-1717
- 介護老人保健施設 かまくら  
神奈川県鎌倉市上町屋750  
TEL 0467-42-1717
- 介護老人保健施設  
リハビリケア湘南かまくら  
神奈川県鎌倉市山崎1202-1  
TEL 0467-41-1616
- 介護老人保健施設  
リハビリケア湘南厚木  
神奈川県厚木市戸田2446-15  
TEL 046-230-5111
- 特別養護老人ホーム  
かまくら愛の郷  
神奈川県鎌倉市植木683-10  
TEL 0467-41-1122
- 特別養護老人ホーム  
逗子杜の郷  
神奈川県逗子市沼間1-23-1  
TEL 046-870-6800

## Access Map 最寄駅 JR大船駅



## 駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

	外来患者	一般・面会
料金体系	最初2時間 200円 以降1時間 100円	1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

	地上	地下
営業時間	0:00~24:00	7:00~21:00
台数	28台	179台

コーナン鎌倉モール

1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料